

■杉田仙十郎 篤農家、地方政治家。杉田定一の父。清廉で物心両面から子支えた。
すぎたせんじゅうろう
・ ・ ・ ・ ・ 1820＝ 越前国坂井郡波寄村(福井市)で、代々次郎兵衛を名乗る川西郷の豪農で大庄屋を務める家柄に生まれる。

シホノト追放・1829＝ 9歳：

大塩平八郎乱1837＝17歳：
適塾ホヱン・ 1838＝18歳：

阿部正弘首座1845＝25歳：

・ ・ ・ ・ ・ 1847＝27歳：

坂井郡藤鷲塚村(春江町)久保庄右衛門の五女隆と結婚し、 杉田家家祖の大庄屋の役を継ぎ、

尊徳報徳論・1851＝31歳：長男杉田定一をもうけた。

ペリー来航・1853＝33歳：

松下村塾・ ・ 1856＝36歳：妻が病死。

 供養のためにと、自費で学校をつくったところ、身分不相応の理由で、大庄屋の役を剥奪される。

桜田門外変・1860＝40歳：

薩摩藩士密航1865＝45歳：

明治維新・ ・ 1868＝48歳：*維新とともに、山岸水門四郷堤並用悪水共取締方・惣代並商法元締助役・川西郷中農事水理堤防並用悪水路修理諸職業引立惣締、
初の日刊新聞1870＝50歳： 郷長をそれぞれ短期間ではあるが務め、当時の豪農層の地域における役割を果たした。
 若い頃から向学の心に燃え済世救民の志を抱き、明治維新という変革期に大いになす所あらんと期するものがあり、その志を長男定一に託す。

明治6年政変 1873＝53歳：
佐賀の乱・ ・ 1874＝54歳：

西南戦争・ ・ 1877＝57歳：*西南戦争後、定一が民権政社を越前に起し、国会開設請願運動に尽くした背後に、また越前の地租軽減闘争の指導者として奮闘した背後に父仙十郎があったことはいうまでもない。
沖縄県編入・1879＝59歳： 石川県の最初の県会議員に選ばれ、第一回目の通常県会に出席したが、
・ ・ ・ ・ ・ 1880＝60歳：*早々に辞任した。以後彼は息定一の政治活動における物心両面の後ろだてとなり、
明治14年政変1881＝61歳：

岩倉具視没・1883＝63歳：

帝国憲法発布1889＝69歳：

大本教・ ・ ・ 1892＝72歳：
郡司千島探検1893＝73歳： 其の活躍に満足しつつ、没した。